※令和３年度以前入学生用

１　国語

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現ａ※	単位数	2	年次	3
使用教科書	国語表現　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で必要な「書いて伝えるために必要な知識・力」を学びます。
・原稿用紙の使い方や、要約についての授業をします。
・感想文の発表やペアワークを行います。表現をすることでコミュニケーションの力を伸ばしましょう。
・小テストを行うことがあります。必ず出席と予習をして、小テストに臨みましょう。
・板書や発表の際は積極的に参加しましょう。

２　学習の到達目標

・感想文の発表やワークを通して、自らの意見を適切かつ効果的に伝えあうことができる。
・データの読み方や要約の方法を学び、思考力を深めている。
・文章の書き方や敬語の学習を通して、適切な言語表現を行うことができる。
・朗読を行うことで言語感覚を磨き、社会生活の向上につなげることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	意見を論理的に判断・展開している。相手の立場や異なる考え方を尊重しようとする。	話題や題材に応じて効果的に話している。的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめている。	相手や目的、意図に応じて言葉遣いや文体などの表現を工夫し、文章を書いている。		表現の特色や言語の役割等について理解を深めている。相手や場に応じた表現をするための知識を身につけている。
評価方法	記述の確認（ワークシート）行動の観察（ペアワーク、発表）	行動の観察（スピーチ、会話練習、ペアワーク、グループワーク等）	記述の確認（ワークシート、原稿用紙）定期考査		記述の確認（ワークシート）定期考査小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期は実施しない									
後期	日本語に親しむ	【基礎編】 ひらがな・カタカナ・漢字の歴史に触れ、表記の特徴について学ぶ。 教材: 「文章表現の基礎」 ワークシート	○				○	a:身近な文字について興味関心や疑問を持っている。 e:ひらがな・カタカナ・漢字の歴史及び用法を理解している。	a:記述の確認 e:記述の確認、定期考査、小テスト（漢字）
	文章表現の基礎	【基礎編】 日本語の基礎的な文法及び句読点の使い方を学ぶ。 教材: 「文章表現の基礎」 ワークシート	○				○	a:文章の細かなニュアンスを文法事項及び句読点によって表現しようとしている。 e:文法事項及び句読点の用法を理解している。	a:記述の確認、行動の観察 e:記述の確認及び定期考査
	効果的な説明の方法	【基礎編】 国旗や地図を用いて、デザインや経路を言葉で説明し、具体的で正確に説明・表現する方法を学ぶ 教材: 「文章表現の基礎」 ワークシート	○		◎		○	a:適切な説明のしかたを考え、伝えようとしている。 c:キーワード等を活用し、わかりやすく説明できている。 e:説明する際に必要なキーワードの選び方等を理解している。	a:行動の観察 c、e:記述の確認

※令和３年度以前入学生用

	多様な表現形式	【基礎編】 年賀状や電子メール、SNSなどの多様な表現形式に触れ、それぞれの特徴を学ぶ。 教材: 「言葉を届ける」 ワークシート	○		◎		○	a: 伝える相手と表現形式を意識して表現しようとしている。 c: 表現形式にふさわしい文章を作成している。 e: 各種表現形式の特徴と用法を理解している。	a:記述の確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	日本語を聞く・メモを取る	【基礎編】 電話やニュース等の音声を用いて、メモの取り方を学ぶ 教材: 「言葉を届ける」 ワークシート	○	◎			○	a:メモの目的を理解している。また、間違いがあった際はなぜ間違えたかを理解している。 c:必要な情報を判断し、速く書き取ることができている。 e:メモを取るポイントを理解している。	a、c、e:記述の確認
	文字を音声に変える	【基礎編】 早口言葉と短い朗読を通して、音声としての日本語に触れる。 教材: 「声の表現」 ワークシート	○	◎			○	a:意欲的に発声を行っている。 b:正しい発音やアクセントで発声できている。 e:正しい発音とそのための発声方法を理解している。	a、b:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査
	豊かな感情表現を知る・感想文入門	【基礎編】 感情の機微を表わす語彙を増やし、より高度な感想文作成につなげる。 教材: ワークシート	○		◎		○	a: 感想を書くという目標を踏まえて、感情を表わす語彙を増やそうとしている。 c:学んだ語彙を活かして感想文を書いている。 e:感想文の書き方を理解している。	a:行動の観察 c、e:記述の確認

※令和３年度以前入学生用

	原稿用紙の使い方	【実践編】 視写を通して、原稿用紙の使い方について学ぶ。 教材: 「原稿用紙の使い方」 ワークシート	○		◎		○	a:意義を理解し、意味を考えながら文章を写している。 c:誤字・脱字・句読点に気をつけて正確に書いている。 e:原稿用紙の正しい使い方について理解している。	a:記述の確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	感想文・批判文を作る	【基礎編】 小説や詩、新聞を読み、抱いた感想及び批判を文章に起こす。それらを発表し、自分以外の考え方や表現方法に触れる。 教材: 「小論文Ⅰ」 「小論文Ⅱ」 ワークシート	○	◎	◎		○	a: 既習事項を活かして文章を書き、自分以外の発表から価値観の違いや光る表現方法を学ぼうとしている。 b:発声や表現を工夫した発表及びメモなどを用いた聴く技術ができている。 c:既習事項を活かして文章を書けている。 e:感想文・批判文の違い及び原稿用紙の使い方について理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 c、e:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。